



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月2日

上場会社名 小松マテレー株式会社 上場取引所 東
コード番号 3580 URL <https://www.komatsumatere.co.jp/>
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐々木 久衛
問合せ先責任者(役職名) 経営企画室長 (氏名) 中村 重之 (TEL) 0761-55-8000
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	27,146	2.0	1,394	0.3	2,028	40.0	1,458	45.5
2023年3月期第3四半期	26,625	15.3	1,389	22.2	1,448	△8.1	1,002	△38.1

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 2,137百万円(28.3%) 2023年3月期第3四半期 1,666百万円(15.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	36.42	—
2023年3月期第3四半期	24.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	48,592	37,169	76.2	924.31
2023年3月期	47,548	35,878	75.2	893.80

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 37,022百万円 2023年3月期 35,751百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2024年3月期	—	12.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	10.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2024年3月期中間配当金の内訳 普通配当 10円00銭 記念配当 2円00銭

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,500	3.0	1,650	2.8	2,200	30.7	1,900	69.8	47.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期3Q	43,140,999株	2023年3月期	43,140,999株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	3,086,442株	2023年3月期	3,142,027株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年3月期3Q	40,032,340株	2023年3月期3Q	40,193,038株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・ 決算補足説明資料は、決算発表後すみやかに当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による行動制限の解除により社会経済が正常化に向かいました。しかしながら、ウクライナやイスラエル・パレスチナでの地政学リスクの増加、円安の進行や世界的な資源価格の高騰による物価上昇が消費マインド・企業活動に影響を及ぼしており、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

こうした経済環境のもと、当社事業については、国内においてファッション分野に加え、資材分野も含めて販売活動を強化し、着実に売上を拡大いたしました。また、海外においては、欧米向けが低迷したものの、中東・アジア向けのさらなる拡販に努めました。その結果、売上は総じて堅調に推移いたしました。さらに、原燃料価格及び資材価格の高止まりや電力料金の値上げによる企業コスト上昇が利益を圧迫したものの、販売価格面やコストダウン等の改善努力により、厳しい状況下におきましても増収増益を果たすことができました。

また、当第3四半期連結会計期間におきまして、当社は10月に創業80周年を迎え、その節目に、さらなる営業力及びブランド力の強化をめざし、東京・南青山に当社初となる旗艦ショールームをオープンいたしました。この青山ショールームでは、立地を活かしショールーム機能に特化した当社ブランドの戦略拠点として、マーケティング及び商品開発を進めるとともに、当ショールームをファッションのみならず様々な場面での商談の場として活用し、各分野の幅広いニーズにお応えしてまいります。

さらに、11月には当社独自の熱可塑性炭素繊維複合材料(CFRP)「カボコーマ・ストランドロッド」を用い、当社製造部本棟の耐震補強を新たな工法で行いました。この新工法により工場の操業を止めることなく施工が可能となり、作業効率の向上や施工費用の削減の効果を実際に確認しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は271億46百万円(前期比2.0%増)となり、営業利益は13億94百万円(前期比0.3%増)、経常利益は20億28百万円(前期比40.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は14億58百万円(前期比45.5%増)となりました。

セグメントの業績につきましては、次のとおりであります。

(繊維事業)

衣料ファブリック部門に関しては、市場の要求に応える高感性・高機能素材や、環境配慮型商品を国内外の市場に積極的に訴求し、拡大を進めてまいりました。当第3四半期連結累計期間では、北米カジュアルウェアや欧州でのスポーツウェアが伸び悩む一方で、中東民族衣装が海外向けの売上を牽引しました。加えて、国内向けファッションが増加したことから、当部門全体としては堅調に推移いたしました。

資材ファブリック部門については、販売価格の見直し等により改善が図られ、車輻分野やリビング分野をはじめ、当部門全体として増収となりました。

製品部門におきましては、自社製品ブランドの市場への浸透を図るものの、ユニフォームを中心とした商品事業が減収となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の当事業の売上高は267億53百万円となりました。

(その他の事業)

物流分野の当第3四半期連結累計期間の売上高は3億92百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、485億92百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億43百万円増加しました。これは主に繰延税金資産が2億99百万円減少したものの、現金および預金が5億42百万円、有価証券及び投資有価証券が3億72百万円、建物及び構築物が2億62百万円、原材料及び貯蔵品が2億30百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、114億23百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億47百万円減少しました。これは主に支払手形及び買掛金が2億66百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、371億69百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億90百万円増加しました。これは主に利益剰余金が5億73百万円、その他有価証券評価差額金が5億1百万円、為替換算調整勘定が1億59百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度における当社グループの事業環境は原燃料・資材価格の高止まりが継続すると見られておりますが、このような状況下で販売価格及びコストダウンの改善により収益性が向上する見通しです。

当連結会計年度の業績予想につきましては、第3四半期累計期間の業績動向及び事業環境等を踏まえ、営業利益を16億50百万円、経常利益を22億円、親会社株主に帰属する当期純利益を19億円に変更いたしました。売上高につきましては、2023年5月9日に公表しました業績予想から変更はありません。

■2024年3月期通期連結業績予想数値の修正(2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想(A) (2023年5月9日公表)	百万円 36,500	百万円 1,400	百万円 1,950	百万円 1,750	円 銭 43.70
今回修正予想(B)	36,500	1,650	2,200	1,900	47.45
増減額(B-A)	—	250	250	150	
増減率(%)	—	17.9	12.8	8.6	
前期実績 (2023年3月期)	35,438	1,605	1,683	1,118	27.86

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,457	9,999
受取手形	1,360	1,562
売掛金	6,164	6,051
有価証券	1,801	2,100
商品及び製品	2,054	2,059
仕掛品	812	786
原材料及び貯蔵品	2,355	2,585
その他	496	156
貸倒引当金	△20	△19
流動資産合計	24,480	25,282
固定資産		
有形固定資産	6,676	6,941
無形固定資産	700	972
投資その他の資産		
投資有価証券	12,878	12,952
繰延税金資産	1,285	985
その他	1,567	1,494
貸倒引当金	△40	△36
投資その他の資産合計	15,690	15,395
固定資産合計	23,068	23,309
資産合計	47,548	48,592

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,470	5,203
未払法人税等	181	303
契約負債	52	39
賞与引当金	527	314
その他	1,665	1,884
流動負債合計	7,897	7,745
固定負債		
退職給付に係る負債	3,470	3,450
その他	303	226
固定負債合計	3,773	3,677
負債合計	11,670	11,423
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,680	4,680
資本剰余金	4,658	4,631
利益剰余金	29,014	29,587
自己株式	△3,598	△3,533
株主資本合計	34,754	35,366
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	585	1,086
為替換算調整勘定	406	565
退職給付に係る調整累計額	4	4
その他の包括利益累計額合計	996	1,656
非支配株主持分	126	146
純資産合計	35,878	37,169
負債純資産合計	47,548	48,592

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	26,625	27,146
売上原価	21,474	21,800
売上総利益	5,151	5,346
販売費及び一般管理費	3,761	3,952
営業利益	1,389	1,394
営業外収益		
受取配当金	139	156
持分法による投資利益	236	227
為替差益	42	—
移転補償金	—	109
その他	221	177
営業外収益合計	639	670
営業外費用		
支払利息	0	—
為替差損	—	2
不動産賃貸原価	26	26
為替予約評価損	549	0
その他	4	7
営業外費用合計	580	37
経常利益	1,448	2,028
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	0	1
特別損失		
固定資産売却損	0	18
固定資産除却損	9	44
投資有価証券評価損	32	—
災害損失	34	2
特別損失合計	76	66
税金等調整前四半期純利益	1,372	1,963
法人税、住民税及び事業税	226	429
法人税等調整額	139	56
法人税等合計	366	486
四半期純利益	1,006	1,477
非支配株主に帰属する四半期純利益	4	18
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,002	1,458

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	1,006	1,477
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	421	506
為替換算調整勘定	241	159
退職給付に係る調整額	△0	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	△4
その他の包括利益合計	659	660
四半期包括利益	1,666	2,137
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,661	2,118
非支配株主に係る四半期包括利益	4	19

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	繊維事業	その他の事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	26,271	353	26,625	—	26,625
セグメント間の内部売上高 又は振替高	24	1,320	1,344	△1,344	—
計	26,295	1,674	27,969	△1,344	26,625
セグメント利益	1,314	64	1,379	10	1,389

(注) 1 セグメント利益の調整額は、すべてセグメント間の取引調整であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	繊維事業	その他の事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	26,753	392	27,146	—	27,146
セグメント間の内部売上高 又は振替高	22	1,367	1,390	△1,390	—
計	26,776	1,760	28,536	△1,390	27,146
セグメント利益	1,316	68	1,385	8	1,394

(注) 1 セグメント利益の調整額は、すべてセグメント間の取引調整であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。